

船井会計事務所経営研究会

会計事務所向け

RPA

活用術

RPA・デジタルを全国トップクラスで  
活用している事務所が極秘公開!!

デジタル大公開!

RPA (ロボティック・プロセス・オートメーション) とは?  
RPAとは「Robotic Process Automation / ロボティック・プロセス・オートメーション」の略語で、ホワイトカラーのデスクワークを、ロボットに覚えさせ、自動で遂行させることができる仕組みです。

サン共同税理士法人がロボット化している業務一例

- 基本情報入力 (会計ソフト、業務管理ツール等)
- 届出書作成業務 (税務ソフト)
- 給与計算業務 (給与計算ソフト)
- 申告書作成業務 (税務ソフト)
- 電子申告 (e-Tax等)



<成功事務所>  
サン共同税理士法人  
代表社員/税理士 朝倉歩氏

担当2名体制から

担当1名 + ロボット体制へ!!

担当者は付加価値業務に専念!

その秘訣とは

この案内をご覧の方に限り、

成功事務所・最新事例講座に無料ご招待いたします!

船井会計事務所経営研究会 無料お試し (6月21日) お問い合わせNO : K100419  
TEL : 03-6212-2931 平日 (9:30~17:30)  
FAX : 03-6212-2201 (24時間対応)

スマホからのお申込みはコチラ▶



このようなお悩みはございませんか？！

- ☑ 人手不足が続いているがなかなか採用できない…
- ☑ より付加価値の高い業務に取り組みたいが、時間がない…
- ☑ 離職率の改善ができず、業務品質が上がらない…
- ☑ スタッフの残業が増えている、どうしよう…

このようなお悩みを解決する！！

## RPA・デジタルの最新事例を一挙大公開いたします！

6月21日

金

10:30～17:00

①(株)船井総合研究所  
東京本社  
(JR東京駅 丸の内北口徒歩1分)



<成功事務所>  
サン共同税理士法人  
代表社員/税理士 朝倉 歩 氏

各会計ソフトへの新規登録（顧客登録、従業員登録、勤怠入力等）を手作業で行っていませんか？ **その作業、ロボットに任せることができるかもしれません！**  
当日は、

税理士法人の経営はもちろんのこと、全国トップクラスの事務所と共に会計事務所の「ロボ化」を推進している税理士法人リライアンス 大城 真哉 先生

自社の業務において先行的にRPAの活用に取り組み、日常業務で既に複数のロボットを走らしているサン共同税理士法人 朝倉 歩 先生

をお呼びし、会計事務所におけるRPA・デジタルの最新情報をお伝えいたします。

当日は実際のロボットが動いている様子を大公開！

【 成功事例事務所が利用しているRPA（一部） 】



弥生・自動印刷ロボ



弥生会計ソフト新規登録ロボ



弥生会計ソフト新規登録ロボ(2)



弥生給与・勤怠入力



フォルダ作成動画

この案内をご覧の方に限り、**初回無料**でご招待いたします

講座	講座内容	当日お伝えするポイント
ガイダンス 10:30～10:45	船井会計事務所経営研究会について 株式会社船井総合研究所士業支援部会計グループ	<input type="checkbox"/> RPAとは？AIとの違いは？
導入講座 11:00～11:10	<はじめに> 本日の定例会テーマについて 株式会社船井総合研究所士業支援部会計グループ	<input type="checkbox"/> 会計事務所のRPA活用実践事例とは？！
第1講座 11:10～12:30	<b>会計事務所向けRPA活用の最新事例</b> 税理士法人リライアンス 税理士 大城 真哉 氏 サン共同税理士法人 代表社員/税理士 朝倉 歩 氏	<input type="checkbox"/> RPA導入で実現できること
第2講座 13:20～14:10	<船井総研より> 最新事例紹介 株式会社船井総合研究所士業支援部会計グループ	<input type="checkbox"/> 人間とRPAでどのように業務を分けるか
第3講座 14:30～16:00	情報交換会×ワークショップ 株式会社船井総合研究所士業支援部会計グループ	<input type="checkbox"/> RPAを自社に取り入れるために必要なこと
振り返り 16:20～16:30	<さいごに> アクション整理&次回のご案内 株式会社船井総合研究所士業支援部会計グループ	

### ★★ お申し込み方法 ★★

- (1) **WEB**: 右QRコードを読み取り、必要事項をご入力ください。
- (2) **FAX**: 右面に必要事項を記入の上、記載のFAX番号にご送信ください。
- (3) **お電話**: 03-6212-2931にお電話の上、担当者に「船井会計事務所経営研究会 無料お試し（6月21日）お問合せNO：K100419」とお伝えください。



スマホからお申し込みはコチラ→



# 2019年4月度 船井会計事務所経営研究会の定例会

## テーマ：「業務管理・効率化」にご参加いただいたお客様の声

制度設計、オペレーションに関しての基本的な考え方から、大変ヒントをいただきました。  
具体的なオペレーションについても参考にさせていただきたいので、またこのような機会をいただければと存じます。ありがとうございました。

大変参考になりました。制度全体における「不要員の排除」と「満足度の向上」のお話しは身の詰まる思いでした。ルーティーンが完璧な事務所が強いというお話や、マニュアルやチェックシートの不備が露呈していると感じております。

社員の自主性・主体性を育てるマネジメントについて大変参考になりました。

人間理解の上での仕組化、制度設計をされているという印象を受け、大変参考になりました。



### 「船井会計事務所経営研究会」について



「船井会計事務所経営研究会」とは、「グレートカンパニー」を目指して、事務所の価値向上を追求し続けたい！という会計事務所向けの専門研究会です。本研究会は、日本経済の発展に向けて、全国の会計事務所が中小企業へ価値の高い経営支援を提供し続けるために、「会計事務所が経営のイノベーションとチャレンジを継続し、業界水準を底上げすること」を目的としています。

株式会社船井総合研究所 士業支援部 会計グループ  
グループマネージャー/エグゼクティブ経営コンサルタント  
鈴木利明

**船井会計事務所経営研究会 無料お試し参加（6月21日）**  
お申込みは電話・FAXまたはWEBでも受付中！  
お申込み切：6月14日（金）17：00まで

下記をご記入の上、そのままFAXしてください。 **FAX：03-6212-2201**

お申込みいただきました後、弊社からのご連絡をもって、申込受付完了とさせていただきます。万一弊社よりご連絡がない場合は、申込に関する問い合わせ担当者までご連絡ください。

研究会の参加には研究会入会の決裁権のある方のご参加をお願いしておりますのでご承知おきください。

フリガナ		フリガナ		お役職
事務所名		ご参加者様		
所在地	〒	電話番号 (携帯番号)		
メールアドレス				

※開催の詳細をメールでお送りします。

該当するものにチェックを入れてください

日程が合わないので別日の案内が欲しい  無料の個別経営相談がしたい

- 弊社からのご連絡をもってお試し参加受付とさせていただきます。
- 万一、開催4営業日前までにご案内がない場合は、上記へご連絡ください。
- ご参加を取り消される場合は、開催日より3営業日（土・日・祝除く）前の17時迄にお電話にて上記申し込み担当者までご連絡くださいますようお願いいたします。

#### 【個人情報に関する取り扱いについて】

- 申込用紙に記載されたお客様の情報は、セミナーのご案内といった船井総研グループ各社の営業活動やアンケート等に使用することがあります。（ご案内は代表者様宛にお送りすることがあります）法令で定める場合のほか、お客様の承諾なしに他の目的に使用いたしません。
- お客様の情報管理につきましては船井総研グループ全体で管理致します。詳しくはホームページをご確認ください。
- 研究会のご案内時に、いただきました住所・貴社名・部署・役職・ご担当者氏名を船井総研グループが個人情報の管理について事前に調査した上で契約しましたダイレクトメール発送代行会社に発送データとして預託することがございます。

4.必要となる情報(会社名・氏名・電話番号)をご提供いただけない場合は、お申込のご連絡や商品の発送等ができません等、お手続きができない場合がございます。

5.お客様の個人情報に関する開示、訂正、追加、停止又は削除につきましては、船井総研コーポレートリレーションズ・データ管理チーム(TEL.06-7711-1179)までご連絡ください。

【個人情報に関するお問い合わせ】  
株式会社船井総合ホールディングス  
個人情報保護対策室(個人情報保護責任者代理)：齊藤 英二郎(TEL.03-6212-2923)

※ご提供いただいた住所宛のダイレクトメールの発送を希望されないときは、☑を入れて当社宛にご連絡ください。

ダイレクトメールの発送を希望しません

船井会計事務所経営研究会 無料お試し（6月21日）お問合せNO：K100419

TEL：03-6212-2931 平日（9:30～17:30）

FAX：03-6212-2201（24時間対応）

明日のグレートカンパニーを創る  
**Funai Soken**

〒100-0005  
東京都千代田区丸の内1-6-6日本生命丸の内ビル21階  
申込に関するお問い合わせ 増子  
内容に関するお問い合わせ 鈴木利・岡本千賀子・石垣



スマホからのお申込みはコチラ





読んで得する！！ 3分でまるわかり！

# RPA (ロボット) が大活躍している

＜成功事務所＞  
サン共同税理士法人  
代表社員/税理士 朝倉歩氏

## 成功事務所のインタビュー

会計事務所の中でも、RPA (ロボット) ・デジタル分野でトップクラスのサン共同税理士法人様のインタビュー記事をご紹介します。サン共同税理士法人は、税務会計業務やM&A、経営支援業務に加えて、会計事務所業務における、基本情報入力、給与計算、申告書作成等の業務において、RPA (ロボット) を導入されており、自社開発したシステムやRPAなど最新のITを利用し、会計事務所業務の効率化に全国でもトップクラスで力をいれていらっしゃる事務所です。

### 税理士業務が「AIにより消える業務」であるという不安

本日は貴重なお時間を頂戴し誠にありがとうございました。まず、RPA導入に至った背景を教えてください！  
まず、私たちがなぜRPAに取り組もうと思ったのかというと、**税理士の業務はAIにより奪われる業務の中で常に上位に入っていた**というのは大きかったです。実際に、ある調査では税理士業務の90%以上がAIによって自動化される可能性があるという結果も出ております。  
そのような中で私たちとしても、**生き残っていくためにはより付加価値の高い業務へシフトしていかなければならない**という気持ちが強くありました。そこで、人がより付加価値の高い業務に時間を充てることできるようにするために、デスクワークや単純作業の一部をRPAで自動化 (ロボット化) していくことを決めました。

### 採用時のエージェントに支払う紹介料が1人100万円以上に！

私たちがRPAの導入を急いだもう一つの理由は、**採用に伴うエージェント紹介料が年々引き上がり、採用コストの上限が限りなく上昇している**ということもとても大きかったです。  
仮に採用できたとしても、その社員がすぐに退職してしまえば、その紹介料も無駄になってしまいます。採用コストを抑えるということと、**離職率を下げる**ということは事務所にとっても大きな課題になりました。また、**働き方改革関連法案の成立、推進で残業が認められない時代となったこと、税理士受験生の減少、最低賃金上昇という時代の流れ**も気になりました。そこから、会計事務所として今後も生き残っていくためにテクノロジーの活用は不可欠だという想いが強くなりました。

### 「RPAって何なの？」RPAとの格闘の日々が続きました

**RPAを実際に導入してみてどうでしたか？**  
RPAの導入を決断した後、そもそも「RPAって何なの？」という問いから始めました。「RPA」という言葉自体は、毎日のように新聞やニュースで取り上げられていますが、その実態はわかっておらず、RPAとは何か、何ができるのかを毎日格闘し、勉強することから始めました。RPAは、繰り返し発生する単純作業や、処理方法や判断ルールが明確な作業を人に変わって、ロボットが代行してくれるというものです。  
RPAのことを理解すればするほど、今後はこのRPA等のテクノロジーを積極的に活用し、**事務所の業務を効率化し、付加価値業務に取り組んでいる事務所とそうではない事務所の間で生産性や業務品質に大きな差がひろくことは間違いない**ことを確信しました。

### 人手不足に悩む顧客の相談急増！RPAが付加価値商品に

人手不足に悩む顧客の相談急増！RPAが付加価値商品に人手不足で悩んでいるのは、当事務所だけではなくありません。顧問先から、採用問題や、働き方改革の方法についてご相談されることが増えました。会計事務所として、顧問先である中小企業の人手不足の解消や生産性向上の課題解決に貢献することは急務でした。実際導入後の現在は、弊社顧問先をはじめとした中小企業向けに、RPAの導入コンサルティングを商品化し販売しております。また、顧問先に代理店となってもらい、RPAの導入コンサルティングを全国展開することに成功しました。そうすることで、自社のためだけだったRPAの外販に成功し、売上に直接結びつく一つの大きな柱となりました。

成功事務所・最新事例講座に**無料**でご紹介いたします！

この案内をご覧の方に限り、

緊急開催

2019年6月21日 (金)

10:30~17:00

(株) 船井総合研究所  
東京本社  
(JR東京駅丸の内北口より徒歩1分)

詳細は裏面をご覧ください